

いま、この国で戦争への準備が着々と進んでいます

◆日本の国を攻めてくる国などないのに、いまこの国では戦争への準備が着々と進んでいます。それが憲法改悪の動きです。

◆みなさん、戦争をするといっても、そう簡単に戦争はできるものではありません。戦争をするには、三つの条件がそろわないとできないと言われています。それはなんでしょうか？

◆一つは軍隊を持つこと、二つ目は戦争ができるように憲法を変えること、そして三つ目は国民の多くが戦争をしたいという気持ちになることです。

◆一つ目の軍隊を持つことは、日本の政府は戦後六十年の間に自衛隊を軍隊ではない（憲法に違反していない）と言い張って、自衛隊を世界有数の戦力を持つ軍隊に育てあげてしまいました。

◆二つ目の憲法については、自衛隊という名の軍隊を持つてしまったので、堂々と軍隊を持てるように、実情に合わせて憲法を変えようということです。

◆そして、仕掛けとして起っている動きが、三つ目の国民が戦争をしたいという気持ちになるように誘導することです。具体的には、教育基本法を変え、歴史教科書を変え、戦争を賛美している靖国神社に首相が参拝して戦争をしたい気持ちを国民に植え付けようとしている動きです。

◆憲法を変えたいという人たちは、国を守るため、国際貢献のため、武力を持ち、使えるようにしようと訴えています。しかし、それは、世界に約束した平和主義を捨て去り戦争のできる国に変わることにはなりません。

◆みなさん、どうか、いまこの国で進んでいる動きの危うさに気づいてください。この国の安全保障どころか、あの悲惨な過去の戦火に再び巻き込む危険性をはらんでいます。

◆非武装で世界のいかなる国からも尊敬され頼りにされる国の姿、武力によらない国際貢献、これこそが現在の平和憲法の目指す国の姿なのです。

二〇〇五年十一月十三日(日) 第四六五回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一、一五

★月例護憲デモ 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

☆講演会のお知らせ（いずれも入場無料）

①会場 浜松労政会館・七階

日時 十一月二十二日(火)午後六時半開会

演題 「いま 憲法を語る」
講師 辻元清美さん(衆議院議員)

主催 愛・平和の会

②会場 クリエイト浜松ホール

日時 十二月六日(火)午後六時開場・六時半開会

講演 「命に国境はない」
講師 高遠菜穂子さん(NGO イラク戦争被災者支援活動家)

主催 浜松・憲法九条の会